

専門研修課程Ⅱ ケアマネジメント演習用 事例シート

科目名 リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例

事例の概要

◆生活歴（職歴）・要介護支援に至るまでの生活状況等

4人姉妹の長女として生まれる。団体職員として勤務し、公務員の夫と結婚し一人娘を育てた。60歳までは車の運転を行っていた。定年後は、遠方の長女のところに出かけることを楽しみにしていた。自宅は閑静な住宅街で、顔なじみもいるがほとんどが高齢の方である。

令和4年4月3日（70歳）自宅の倉庫で1mほどの高さの脚立から転落する。腰部の痛みがあり近医を受診し自宅で安静療養となる。4月13日に動けなくなり緊急搬送。第10胸椎圧迫骨折と診断され、保存的治療となる。入院中、精神的な不安から夜間の不眠・不穏が顕著となり精神科の服薬が増え、また、肺炎を併発し内科治療を受けた。骨折から1年3か月経過（担当して1年経過）。令和5年6月15日（71歳）自宅療養中。全身状態は安定している。うつについても今は薬を飲まなくてもよい状態である。胸腰部の背後の痛みは、今はない。リハビリテーションが順調に進み、屋内は歩行器での移動ができるまでになった。今回、状況等を勘案して、ケアプランの変更を行った。介護認定結果は前回の要介護4から要介護3に変更された。

※今回の事例は、退院後1年経過し、ケアプランの変更をする事例です。

基本情報に関する項目

受付年月	令和5年7月
受付担当者	M介護支援専門員
受付経路	U総合病院地域連携室Pさんから、N地域包括支援センターを經由して、退院後のサービス調整について依頼がある。
氏名・性別・年齢・住所・電話	Aさん 女性 71歳 住所：〇〇市〇〇町 電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
家族状況	・夫（74歳）との二人暮らし ・長女（41歳独身）が遠方に住んでおり、年に数回出かけていた。 ・妹弟、夫の兄弟は近くに住んでいて、相談にはのってくれる。
生活歴	4人姉妹の長女として生まれる。団体職員として勤務し、公務員の夫と結婚し一人娘を育てた。60歳までは車の運転を行っていた。定年後は、遠方の長女のところに出かけることを楽しみにしていた。自宅は閑静な住宅街で、顔なじみもいるがほとんどが高齢の方である。
生活状況	・7時頃：起床、トイレ、朝食、テレビを観て過ごす ・12時頃：昼食 ・14時頃：編み物、読書など ・17時頃：夕食 ・22時頃：就寝
保険・他法情報	厚生年金
現在利用しているサービスの状況	ショートステイ（定期的にご利用）

障害高齢者の日常生活自立度	A 2（令和4年7月はB 2レベル）
認知症である高齢者の日常生活自立度	I（令和4年7月はI レベル）
主訴	本人：頑張ってリハビリをして歩行器で歩けるようになりました。これからもリハビリを継続して、少しでもできることを増やしていきたい。買い物や調理にも挑戦してみたい。 夫：日中一人で過ごすことがあっても対応できるようになったので、ずいぶん介護が楽になりました。今後もあせらずにリハビリを続けてほしいと思います。
認定情報	要介護3（令和5年1月1日～令和5年12月31日） 要介護4（令和4年7月1日～令和4年12月31日）
課題分析理由	状態がよくなり状態に合わせたサービスを検討するため。

アセスメントに関する項目

健康状態	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年（53歳）乳がん ・平成27年（63歳）大腸がんの手術 ・平成27年（63歳）うつ状態、通院加療、服薬。家事などには支障はなかった。 ・令和4年4月3日（70歳）第10胸椎圧迫骨折後両下肢麻痺 ・令和5年6月15日（71歳）自宅療養中。
ADL	<ul style="list-style-type: none"> ・起居動作：寝返り・起き上がりは何とか一人でできる。 ・座位：背もたれがなくても座位がとれる。 ・立ち上がり：物につかまればできる。 ・歩行：見守りのもと、手すりにつかまっでの歩行ができる。 ・移動：屋内の移動は歩行器中心となっている。 ・排泄：日中は自宅トイレ使用（ズボン上げ下げ介助）。夜間はオムツ使用。 ・入浴：全介助（ショートステイ利用時に機械浴使用）。 ・食事：自立。リビングで食事をしている。普通食。現在は配色サービスを1日1回夫が調理している。 ・更衣：ズボン・靴下で一部介助されている。 ・整容：自分で行っている。
IADL	<ul style="list-style-type: none"> ・入院前は家事全般をしていたが、現在は夫が全て行っている。夫が調理しているときに、手順など声をかけている。
認知	<ul style="list-style-type: none"> ・認知能力の低下はみられない。
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はない。
社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は、地域の活動などにも参加していたが、63歳頃、うつになってからは近所の方との交流くらいになっていた。買い物などは好きで、近所のスーパーへ買い物に行ったり、夫の車で遠方へ出掛けていた。現在は受診時とショートステイ利用時、たまに夫と買い物にでかけている。

排尿・排便	<ul style="list-style-type: none"> ・尿意・便意不安定。 ・日中はリハビリパンツ使用で自宅トイレを使用している。 ・夜間はオムツ使用。
じょくそう・皮膚の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、皮膚のトラブルはない。
口腔衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・上顎は入れ歯、下顎は部分入れ歯。 ・入れ歯をはずして、歯磨きを自分でやっている。 ・歯茎の汚れや口臭あり。
食事摂取	<ul style="list-style-type: none"> ・普通食。箸を使って食べている。 ・リビングで食べている。
行動障害	<ul style="list-style-type: none"> ・入院前は夜に眠れず、不安を訴えることが見られていたが、現在は安定している。
介護力	<ul style="list-style-type: none"> ・夫は74歳。健康状態は良好。
居住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・閑静な住宅街の道路に面した一軒家。500mの所にスーパーがある。 ・玄関へのアプローチまでと玄関内に数段の階段がある。スロープ設置済み。 ・トイレは和式から洋式へ。手すりも設置済み。 ・浴室の改修はまだ行っていない。浴槽はやや深い。 ・以前は2階に寝室があったが、現在は1階で生活している。
特別な状況	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は配食サービスを1日1回利用。その他は夫が調理している。

長崎県介護支援専門員協会（転用禁止）